

LMO-HU2 V03A

USB 2.0 MO UNIT

MOユニット・ ユーザーズマニュアル

LMO-H1340U2

LMO-H1340U2 (W)

LMO-H648U2 (W)



Logitech

目次

取扱い上のご注意	1
付属品の確認	5
ごあいさつ	6
ご注意	6
第1章 製品のご紹介	7
1.1 製品の特徴	7
1.2 使用環境	8
1.3 各部の名称と機能	9
1.4 メディアに関して	11
1.5 設置方向について	12
1.6 接続の前に	13
第2章 Windows Me, 98 の場合	14
2.1 接続とインストール	14
2.1.1 Windows Me の場合	14
2.1.2 Windows 98 の場合	18
2.2 フォーマットについて	21
2.3 メディアセットと取り出し	23
2.4 本製品を取り外す場合は	24
第3章 Windows XP, 2000 の場合	26
3.1 接続とインストール	26
3.2 接続 / インストール結果の確認	28
3.3 フォーマットについて	30
3.4 メディアのセットと取り出し	31
3.5 本製品を取り外す場合は	32
第4章 Macintosh の場合	34
4.1 接続とインストール	34
4.1.1 ドライバのインストール	34
4.1.2 本製品の接続	37
4.2 MOメディアのフォーマット手順	38
4.3 補足事項	41
4.4 本製品を取り外す場合は	42
第5章 補足事項	43
5.1 トラブルシューティング	43
5.2 メディアIDについて	46
5.3 保守とその他の注意事項	47
ハードウェア仕様	48

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

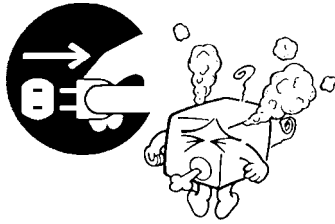


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

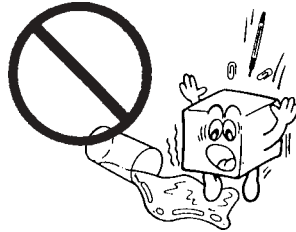
本体から異臭や煙が出た時は、ただちにACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

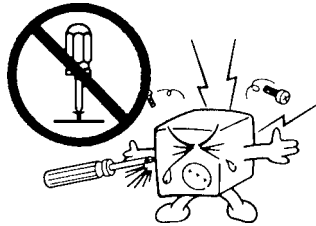
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



正しい電源で

使用してください。

ACアダプタは必ず本製品付属のものを使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。



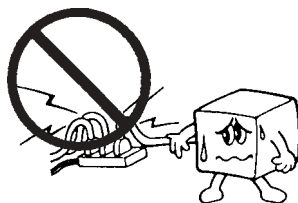
ACアダプタのコードを大切に。

ACアダプタのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



⚠ 注意

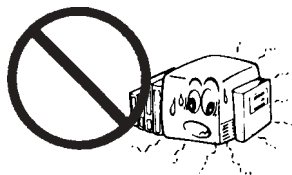
ACアダプタはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



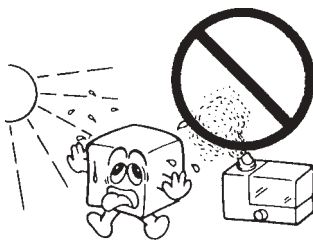
ACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



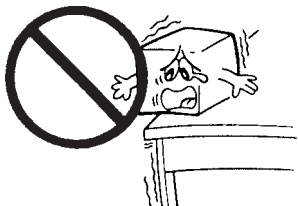
通風孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

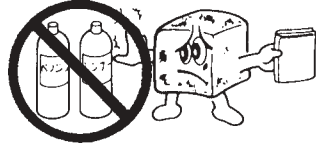


本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。

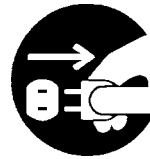


⚠ 注意

本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプタをコンセントから抜いておいてください。





Windows 環境でご使用の方へ

当社 DOS/V 対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーの DOS/V パソコンで一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

(*1)OADG は「PC オープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。
(OADG URL <http://www.oadg.or.jp/>)



製品の型番ついて

製品の型番末尾に (W) とある物はボディカラーがホワイトであることを意味します。その他の取り扱い方法などは型番末尾に、(W) とあるなしにかかわらずまったく同じです。

付属品の確認

MO ユニット	1 台
AC アダプタ	1 個
USB ケーブル (USB2.0 High Speed 対応)	1 本
縦置き用スタンド	1 セット
横置き用ゴム足	1 シート
「Logitech Ware」CD-ROM	1 枚
イジェクトツール	1 個
MO ユニット・ユーザーズマニュアル	本書
保証書 / ユーザー登録カード	1 枚

本製品は精密電子機器です。輸送時には、必ず付属の梱包材をご使用ください。

* MS[®]、Windows[®]は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国での登録商標です。
Macintosh、Mac OS は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

第1章 製品のご紹介

1.1 製品の特徴

本製品は USB 2.0/1.1 インターフェースに対応したコンパクトサイズの外付け型 MO ユニットです。

本製品の特徴

480Mbps の高速データ転送が可能な USB 2.0 の High-Speed に対応し、従来の USB 1.1 対応の USB ポートに接続することも可能ですので非常に幅広いパソコンに接続して使用することができます。

キャッシュメモリを 8MB 搭載し、スーパーインテリジェントキャッシュ方式を採用していますので、高速アクセスが可能です。「スーパーインテリジェントキャッシュ」とは、キャッシュ自身が管理機能を持つ極めて高性能なキャッシュ方式です。データを最適なデータ量に分割してキャッシュメモリに蓄え、アクセスの頻度によって管理を行っています。

幅 33mm、高さ 111mm、奥行き 141mm のコンパクト設計ですので、設置に場所を取らず、携帯に最適です。

パソコンの USB ポートにケーブルを差し込むだけの簡単接続で手軽に MO メディアを使用することができます。

LMO-H1340U2 は 1.3GBMO メディア (GIGAMO 1.3GB 規格) に対応しています。



重要なご注意

- ・本製品をバスパワーで使用することはできません。必ず付属の AC アダプタを接続してください。
- ・本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものが、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 2.0 に対応していないケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・USB 1.1 ポートへ接続して使用する際にもなるべく USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。
- ・スリープモード・サスペンドモードなどのような省電力モードは未サポートとなっております。

1 . 2 使用環境

1

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のよう
な環境条件を満たしていなくてはなりません。

対応パソコンについて

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパ
ソコン本体に接続可能です。すべて USB ポートを搭載している機種に限
定されます。また、High-Speed での転送を実現するためにはパソコン本
体のインターフェースが USB 2.0 に対応していなければなりません。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	iMac
	eMac
	Power Mac G5
	Power Mac G4、Power Mac G4 (Cube)
	Power Macintosh G3 (Blue & White)
	iBook
	PowerBook G4
	PowerBook (FireWire)
	PowerBook G3 (BronzeKeyboard)

対応 OS について

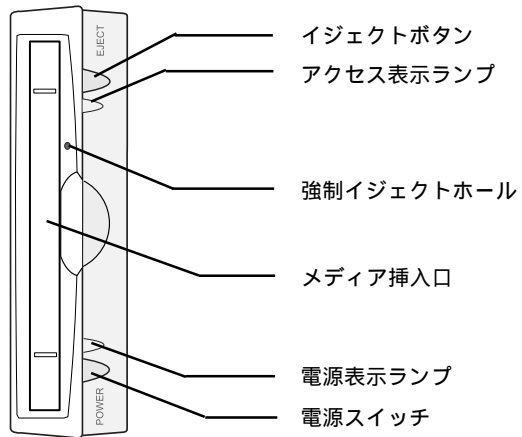
本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下の
OS をご使用ください。すべて日本語版 OS のみに限定されます。また、パ
ソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社
Windows XP Home Edition / Professional
Windows Me
Windows 98 (Second Edition 含む)
Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社
Mac OS 8.6 ~ Mac OS 9.2.2
Mac OS X 10.0.4 以降

1.3 各部の名称と機能

本製品前面



イジェクトボタン

パソコン本体のOSが起動していないときに、MOメディアを取り出したい場合に使用します。

アクセス表示ランプ

本製品にセットされたMOメディアにアクセスが行われると点滅します。

強制イジェクトホール

何かの原因でMOメディアが取り出せなくなったときに使用します。詳細については第5章の「5.1 トラブルシューティング」をご参照ください。

メディア挿入口

MOメディアをセットする部分です。

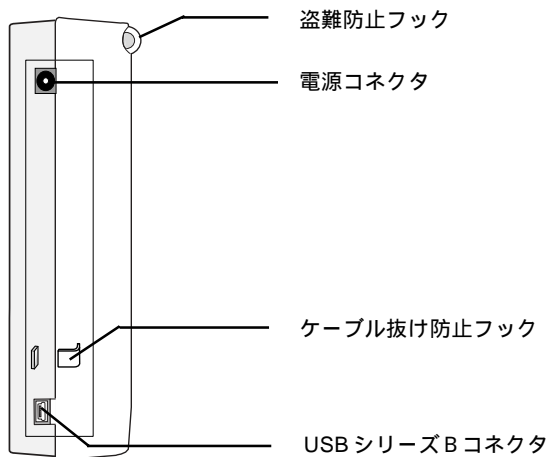
電源表示ランプ

本製品の電源がONになると点灯します。

電源スイッチ

本製品の電源をON/OFFします。

本製品背面



盗難防止フック

盗難防止用にワイヤを取り付けておくことができます。

電源コネクタ

付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続します。

ケーブル抜け防止フック

AC アダプタのプラグまたは USB ケーブルが外れないようにケーブルを引っ掛けておく部分です。

USB シリーズ mini- B コネクタ

付属の USB ケーブルでパソコン本体の USB ポートと接続します。

1.4 メディアに関して

使用可能なメディアについて

本製品では、下表で のついたMOメディアを使用することができます。

機種名		LMO- H1340U2 LMO- H1340U2 (W)	LMO- H648U2 (W)
128MB	標準		
	OW		
230MB	標準		
	OW		
540MB	標準		
	OW		
640MB	標準		
	OW		
1.3GB	標準		x
	OW		
2.3GB	標準	x	x
	OW		

= 使用可能 x = 使用不可

= 使用可能ですが、書き込み速度は、通常のMOディスクと同等になります。

= このタイプは現在発売されていません。

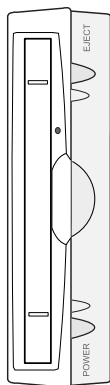


ご注意

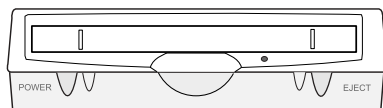
- ・他のMOユニットとのデータ交換には、128MBのMOメディアは使用しないでください。(この用途は保証範囲外とさせていただきます。)
これは128MBのMOユニットには、初期のドライブを使用した製品があり、レーザー光の強度が本製品と異なる可能性があるためです。データ交換には、230MB以上のMOメディアをご使用ください。

1.5 設置方向について

本製品は縦置き、横置きのどちらでも使用することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置すると、トラブルの原因となる場合があります。

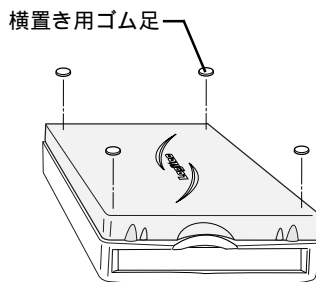
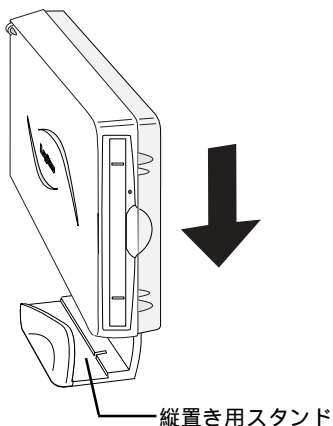


縦置きの場合



横置きの場合

縦置きの場合は、設置時、付属のスタンドをご使用ください。(下左図)
横置きの場合は、底面の4箇所に付属のゴム足を貼付してください。(下右図)



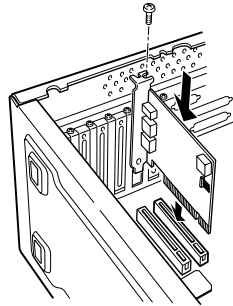
上図は底面を上にするため、設置方向と逆になっていますので、ご注意ください。

1.6 接続の前に

USB 2.0 インターフェイスボードの接続

パソコン本体にUSB 2.0ポートがない場合は別売りのUSB 2.0 インターフェイスボード（PCI用インターフェイスボード、もしくはCardBus対応USB 2.0インターフェイスカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前にUSB 2.0 インターフェイスボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておください。（本製品をUSB 1.1ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。その場合の最大転送速度は従来のUSB 1.1と同様 Full-Speed（12Mbps）になります。）



USB 2.0 インターフェイスボードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

PCIバス用USB 2.0 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA-USB2N	PCI	インターフェイスボード単体 Windows 環境のみ対応
LHA-USB2NH	PCI	インターフェイスボード単体 Windows Mac OS X 10.2.8 以降対応
LHA-USB2/M	PCI	インターフェイスボード単体 Windows、Mac OS X 10.2 以降対応

CardBus対応USB 2.0 インターフェイスカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2	CardBus	インターフェイスカード単体 Windows 環境のみ対応
LPM-CBUSB2H	CardBus	インターフェイスカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応

第2章

Windows® Me, 98 の場合

2.1 接続とインストール

本章では、Windows Me, 98 環境での接続とインストール手順についてご説明いたします。本製品をUSB2.0のHigh-Speedで使用する場合は接続先のパソコンのUSB 2.0 拡張ポートへ接続します。ご使用のパソコンにUSB 2.0 ポートがない場合には、接続先をUSB 1.1 ポートにして本製品の接続とインストールを進めてください。USB 1.1 ポートへ接続した場合、Full-Speed (12Mbps) までの対応となります。

2.1.1 Windows Me の場合

本製品を Windows Me 上で使用する場合、本製品を接続する前に以下の手順でドライバをインストールしなければなりません。



ご注意

Windows Me の場合、ドライバをインストールしていない状態で本製品を接続すると、パソコンがハングアップ状態（キーボードやマウスの操作をまったく受け付けない状態）になる危険性があります。必ず最初にドライバのインストールを行ってください。

本製品を接続していない状態で Windows Me のシステムを起動してください。起動が完了したら本製品付属の「LogitechWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。



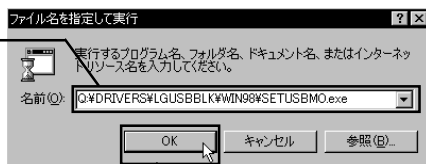
ポイント

ここでCD-ROMの自動挿入機能が有効になっていると、自動的にセットアップランチャーが起動しますが、この手順ではセットアップランチャーを使用しませんので「終了」と書かれたボタンをクリックして、セットアップランチャーのウィンドウを閉じてください。

タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックし、表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択してください。

以下のウィンドウが表示されますので、「名前」のテキストボックスに「Q:\\$DRIVERS\LGUSBBLK\WIN98\SETUSBMO.exe」と入力して、OK ボタンをクリックしてください。

1. ここに入力して



2. OK をクリック

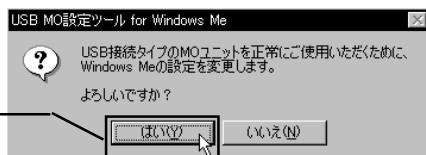
Point

ポイント

ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

USB MO設定ツール for Windows Me が起動します。

「はい」をクリック



必要なファイルがシステムに転送されます。転送が終了すると右のウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック



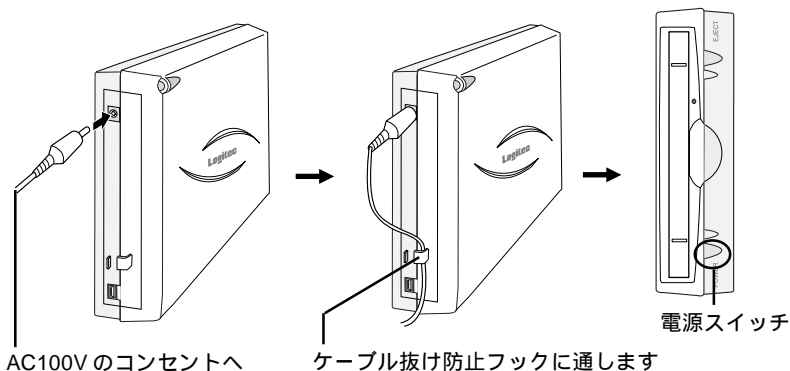
以上でインストールは終了です。CD-ROM をドライブから取り出しておいてください。次に本製品の接続を行います。次ページへお進みください。

2.1 接続とインストール

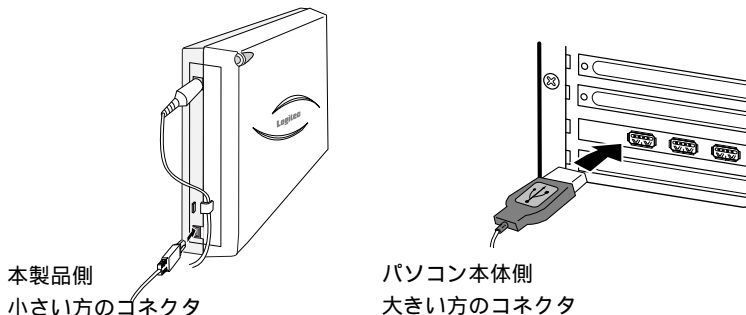
2.1.1 Windows Me の場合

続いて本製品の接続を行います。本製品背面の電源コネクタに付属のACアダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックの下にくぐらせてください。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続します。

ACアダプタの接続ができれば、本製品の電源スイッチをONにします。



本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリーズBコネクタと、パソコン本体のUSBポートを接続してください。



重要なお注意

- ・本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0対応ケーブルを使用してください。USB 2.0に対応していないケーブルでUSB 2.0ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・USB 1.1ポートへ接続して使用する際にもなるべくUSB 2.0対応ケーブルをご使用ください。

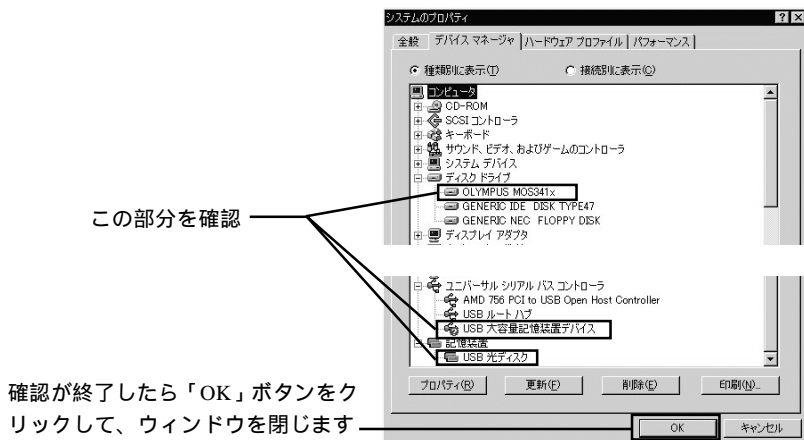
本製品がプラグ&プレイで認識され、ドライバの組み込みが全て自動的に行われます。(ここでユーザーが操作を行う必要はありません。)

作業が終了したら最後に接続/インストール結果を確認します。「コントロールパネル」から「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。以下の様に3つのデバイスが登録されていたらインストールは正常に終了しています。

「ディスクドライブ」の下に「OLYMPUS MOS341x」があることを確認します。

「ユニバーサル シリアル バスコントローラ」の下に「USB 大容量記憶装置デバイス」があることを確認します。

「記憶装置」の下に「USB 光 ディスク」があることを確認します。



次にMOメディアのフォーマットについて説明しますので2.2節へお進みください。



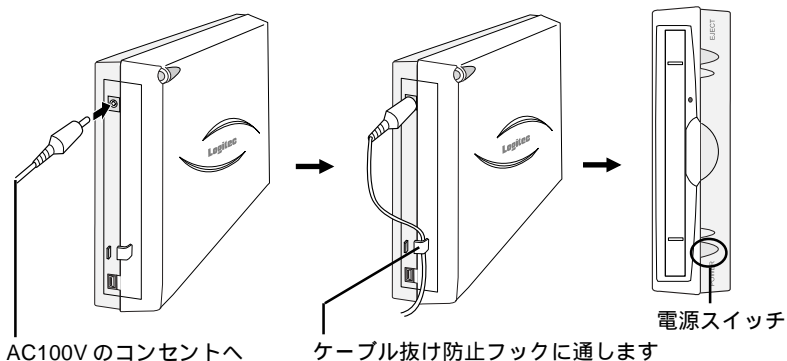
参考

- ・「USB 大容量記憶装置デバイス」の表示に「？」マークが付いていますがこれは異常ではありません
- ・ディスクドライブ名の「OLYMPUS MOS341x」の中のMOS341xには、本製品内蔵のMOドライブの型番が入ります。

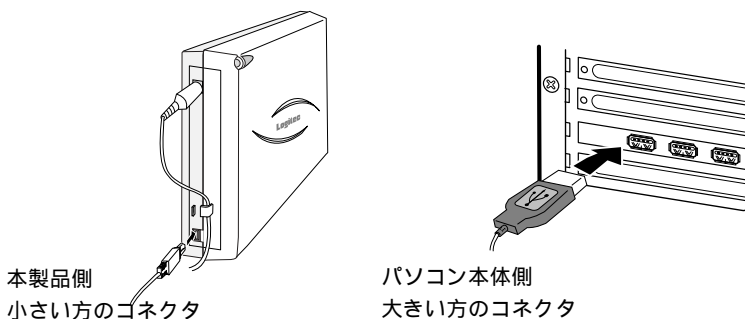
2.1.2 Windows 98 の場合

パソコン本体の電源を ON にして、Windows 98 のシステムを起動してください。本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックの下にくぐらせてください。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続します。

AC アダプタの接続ができたなら、本製品の電源スイッチを ON にします。



本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属の USB ケーブルで本製品の USB シリーズ B コネクタと、パソコン本体の USB ポートを接続してください。

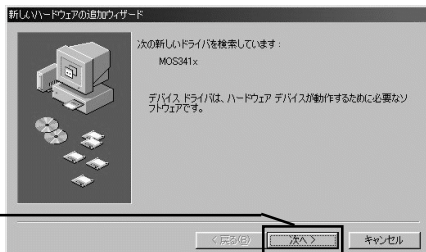


重要なお注意

- ・本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 2.0 に対応していないケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・USB 1.1 ポートへ接続して使用する際にもなるべく USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。

本製品を接続すると、プラグ & プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック



右下のウィンドウが表示されたら、CD-ROM ドライブに本製品付属の「Logitech Ware」CD-ROM をセットしてください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェックされた状態にして

2. ここに以下のように入力して

Q:¥DRIVERS¥LGUSBBLK¥WIN98

3. 「次へ」をクリック



Point

ポイント

ここで「Q:」はCD-ROM ドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

右のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



2.1 接続とインストール

2.1.2 Windows 98 の場合

必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック



作業が終了したら最後に接続/インストール結果を確認します。「コントロールパネル」から「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。以下の様に3つのデバイスが登録されていたらインストールは正常に終了しています。

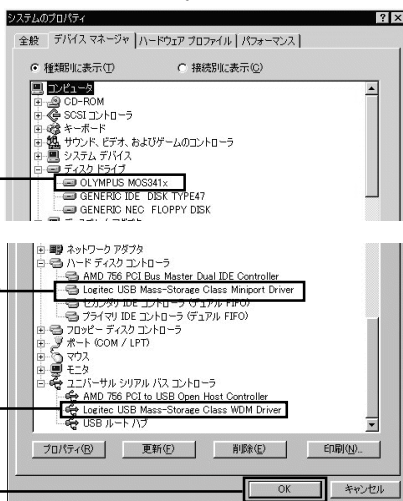
「ディスクドライブ」の下に「OLYMPUS MOS341x」があることを確認します。

「ハードディスクコントローラ」の下に「Logitec USB Mass-Storage Class Miniport Driver」があることを確認します。

「ユニバーサル シリアル バスコントローラ」の下に「Logitec USB Mass-Storage Class WDM Driver」があることを確認します。

この部分を確認

確認が終了したら「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じます



次にMOメディアのフォーマットについて説明しますので2.2節へお進みください。



参考

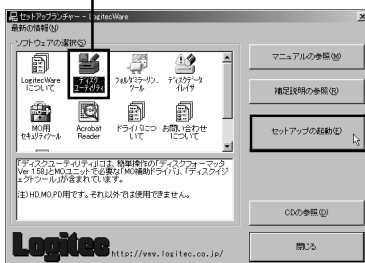
ディスクドライブ名の「OLYMPUS MOS341x」の中のMOS341xには、本製品内蔵のMOドライブの型番が入ります。

2.2 フォーマットについて

Windows Me, 98の場合、MOメディアのフォーマットは付属のユーティリティ「ディスクフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。(下図参照)

1. 「ディスクユーティリティ」のアイコンを1回クリックして、選択状態にします。

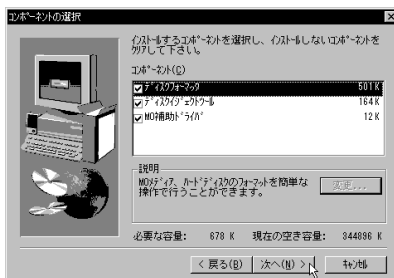


2. 「セットアップの起動」をクリックします。

Point

ポイント

ディスクユーティリティには「ディスクフォーマッタ」以外にも、「ディスクプロジェクトツール」と「MO補助ドライバ」が含まれています。これらのユーティリティは本製品を使用する上で必要ですので、必ずインストールしてください。



2.2 フォーマットについて

インストールが終了したら、ディスクフォーマッタはタスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」 「Logitech」とポイントし、「ディスクフォーマッタ」をクリックすることで起動できます。



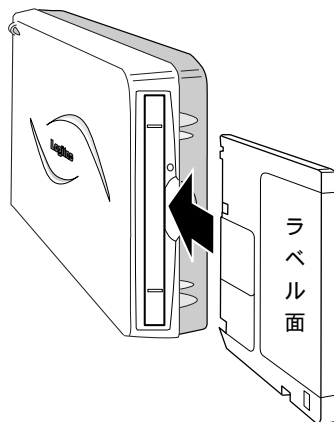
また、インストール時、デスクトップ上にショートカットアイコンを作成した場合は、デスクトップ上の右のアイコンをダブルクリックしても起動することができます。



ディスクフォーマッタが起動したら、MOメディアのフォーマットを行います。フォーマットの手順については、ディスクフォーマッタのヘルプメニューから「トピックの検索」を選択し、表示されるヘルプウィンドウで「操作方法」 「MOメディアのフォーマット」をご参照ください。

2.3 メディアセットと取り出し

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)



2

ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないで下さい。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

Windows Me, 98上でMOメディアを取り出したい場合は、ディスクユーティリティインストール時にインストールされたイジェクトツールを使用します。タスクバーの右図のアイコンをクリックして、表示されるメニューから本製品のドライブ名を選択してください。



このアイコンをクリックします。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。

ご注意

本製品前面のイジェクトボタンはWindowsのシステムが起動していないときに使用します。Windows稼動中は使用しないでください。

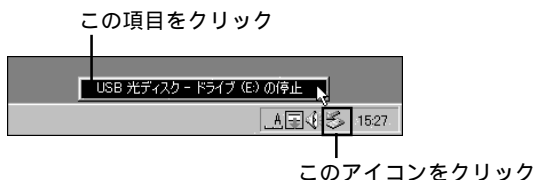
2 . 4 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONの状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、

Windows Me では、「USB 光ディスク - ドライブ (E:) の停止」をクリックしてください。



Windows 98 では、「停止 - [DiskDrive] OLYMPUS MOS341x E:」をクリックしてください。

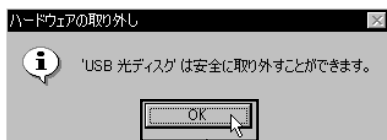


Point

ポイント

- ・ここで「E:」は本製品のドライブ名ですので環境によって異なります。
- ・Windows 98 で表示される「停止 - [DiskDrive] OLYMPUS MOS341x E:」の中のMOS341xには、本製品内蔵のMOドライブの型番が入ります。

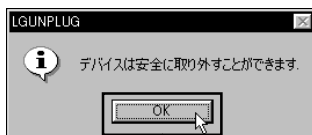
Windows Me では「USB 光ディスク」は安全に取り外すことができます。」と表示されますので「OK」をクリックしてください。



「OK」ボタンをクリック

2

Windows 98 では「デバイスは安全に取り外すことができます。」と表示されますので「OK」をクリックしてください。



「OK」ボタンをクリック

USB ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にして AC アダプタを外してください。

第3章

Windows® XP、2000 の場合

3.1 接続とインストール

本節では、Windows XP、2000 環境での本製品の接続とインストールの手順をご説明いたします。本製品を USB2.0 の High-Speed で使用する場合は接続先のパソコンの USB 2.0 拡張ポートへ接続します。ご使用のパソコンに USB 2.0 ポートがない場合には、接続先を USB 1.1 ポートにして本製品の接続とインストールを進めてください。USB 1.1 ポートへ接続した場合、Full-Speed (12Mbps) までの対応となります。

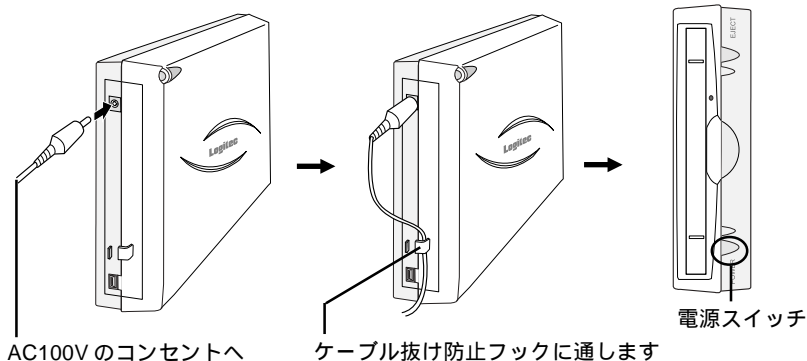
3

Point

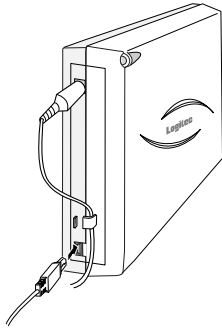
パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動し、**管理者権限を持つユーザー**（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators グループ」）としてログオンしてください。

本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックの下にくぐらせてください。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続します。

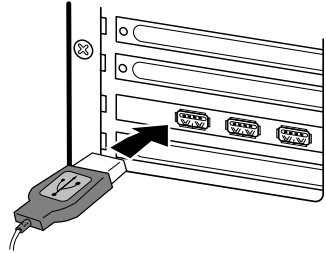
AC アダプタの接続ができたなら、本製品の電源スイッチを ON にします。



本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリアルBコネクタと、パソコン本体のUSBポートを接続してください。



本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側
大きい方のコネクタ



重要なお注意

- ・本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0対応ケーブルを使用してください。USB 2.0に対応していないケーブルでUSB 2.0ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・USB 1.1ポートへ接続して使用する際にもなるべくUSB 2.0対応ケーブルをご使用ください。

本製品がプラグ & プレイで認識され、ドライバの組み込みが全て自動的に行われます。(ここでユーザーが操作を行う必要はありません。)

以上で本製品の接続とインストールは終了です。次に接続結果の確認をしますので3.2節へお進みください。

3 . 2 接続 / インストール結果の確認

接続 / インストール作業が終了したら以下の手順で結果の確認を行います。

Windows 2000 の場合

「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

「USB (Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリックして開き、「USB 大容量記憶装置デバイス」が表示されることを確認します。

「ディスクドライブ」をダブルクリックして開き「OLYMPUS MOS341x USB Device」が表示されることを確認します。

「記憶域ボリューム」をダブルクリックして開き「汎用ボリューム」が表示されることを確認します。



このデバイスが表示されたら、本製品の接続と認識は正常に行われています。次に MO メディアのフォーマットについて説明しますので 3 . 3 節へお進みください。



参考

ディスクドライブ名の「OLYMPUS MOS341x」の中の MOS341x には、本製品内蔵の MO ドライブの型番が入ります。

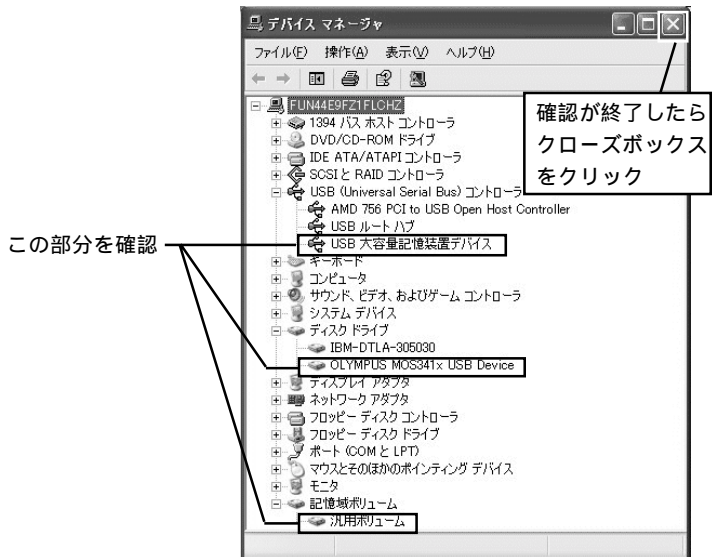
Windows XP の場合

「コントロールパネル」から「プリンタとその他のハードウェア」をクリックし、「関連項目」から「システム」を選び、システムウィンドウから「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。下のように接続されている機器の一覧が表示されたら、以下のデバイスが表示されることを確認してください。

「USB (Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリックして開き、「USB 大容量記憶装置デバイス」が表示されることを確認します。

「ディスクドライブ」をダブルクリックして開き「OLYMPUS MOS341x USB Device」が表示されることを確認します。

「記憶域ボリューム」をダブルクリックして開き「汎用ボリューム」が表示されることを確認します。



このデバイスが表示されたら、本製品の接続と認識は正常に行われています。次にMOメディアのフォーマットについて説明しますので3.3節へお進みください。

参考

ディスクドライブ名の「OLYMPUS MOS341x」の中のMOS341xには、本製品内蔵のMOドライブの型番が入ります。

3.3 フォーマットについて

Windows XP、2000 の場合、MO メディアのフォーマットは付属のユーティリティ「MO メディアフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。(下図参照)

1. 「ディスクユーティリティ」のアイコンを 1 回クリックして、選択状態にします。



2. 「セットアップの起動」をクリックします。

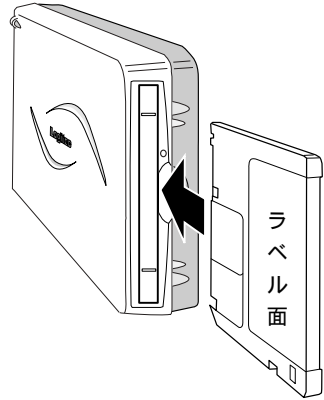
インストールが終了したら、ディスクフォーマッタはタスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」「Logitec」とポイントし、「MO メディアフォーマッタ」をクリックすると起動できます。



MO メディアフォーマッタの使用方法(MOメディアのフォーマット手順)については、「Logitec Ware」CD-ROM に収録されたオンラインマニュアルをご参照ください。

3.4 メディアのセットと取り出し

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)

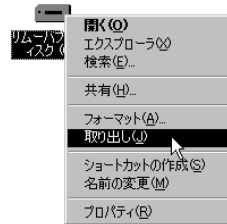


ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないで下さい。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

Windows XP、2000上でMOメディアを取り出したい場合は、「マイコンピュータ」に登録された本製品のアイコン(リムーバブルディスク)を右クリックして、表示されるメニューから「取り出し」を選択してください。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

- ・本製品前面のイジェクトボタンはWindows が起動していないときに使用します。Windows 稼働中は使用しないでください。
- ・Windows XP、2000でMOメディアを取り出すには、管理者権限を持つユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administratorsグループ」)としてログオンする必要があります。

3 . 5 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONの状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、

Windows XP では「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します」をクリックしてください。

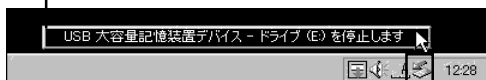
この項目をクリック



このアイコンをクリック

Windows 2000 では「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します」をクリックしてください。

この項目をクリック



このアイコンをクリック

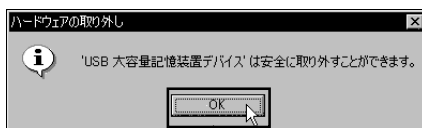
Point

ポイント

ここで「E:」は本製品のドライブ名ですので環境によって異なります。

Windows XPでは、「'USB 大容量記憶装置デバイス'は安全に取り外すことができます。」というメッセージがでましたら取り外し可能となります。

Windows 2000では、「'USB 大容量記憶装置デバイス'は安全に取り外すことができます。」と表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。



OK ボタンをクリック

USB ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にして、AC アダプタを外してください。

第4章

Macintosh®の場合

4.1 接続とインストール

本節では本製品のドライバをインストールして、本製品を接続するまでの手順を説明します。

Point ポイント

Mac OS X 10.0.4 以降をご使用の場合、本製品を使用するためのドライバが標準で添付されているので、ドライバのインストール作業は必要ありません。「4.1.2 項 本製品の接続」へお進みください。

4.1.1 ドライバのインストール

(Mac OS 9.2.2 以前のみ)

本製品を接続していない状態で、Macintosh のシステムを起動してください。

「Logitech Ware」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

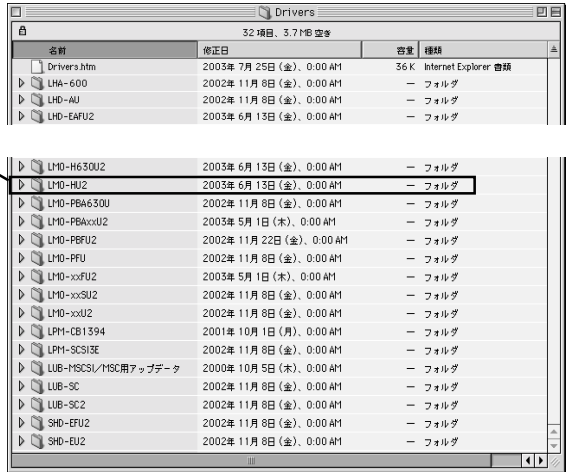
CD-ROM のウィンドウが開きますので、「Drivers」と書かれたフォルダをダブルクリックして開いてください。



このフォルダを
ダブルクリック

下のようにドライバフォルダの一覧が表示されます。一覧の中から「LMO-HU2」と書かれているフォルダをダブルクリックしてください。

「LMO-HU2」フォルダを
ダブルクリック

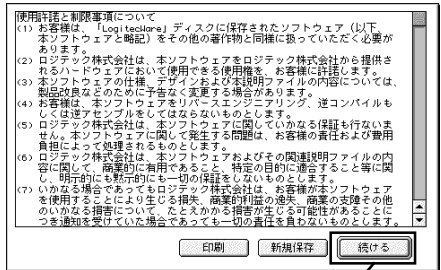


右のような画面が表示されるので、「ディスク
ドライバインストーラ」と書かれたアイコンを
ダブルクリックしてください。

この部分をダブルクリック



インストーラが起動して、仕様許
諾等が表示されます。



内容を確認して同意
する場合は「続ける」
をクリック

4.1 接続とインストール

4.1.1 ドライバのインストール

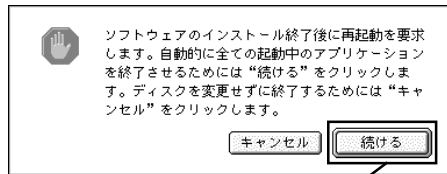
ドライバをインストールするフォルダを選択するウィンドウが表示されます。



特に支障がない場合は、そのまま「インストール」をクリック

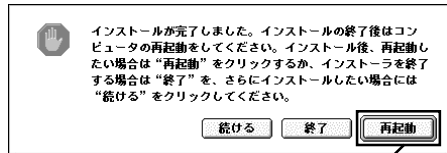
インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認メッセージが表示されます。

他のプログラムなどが起動していないことを確認したら、「続ける」をクリック



必要なファイルが転送されます。終了すると右のウィンドウが表示されます。

「再起動」をクリック



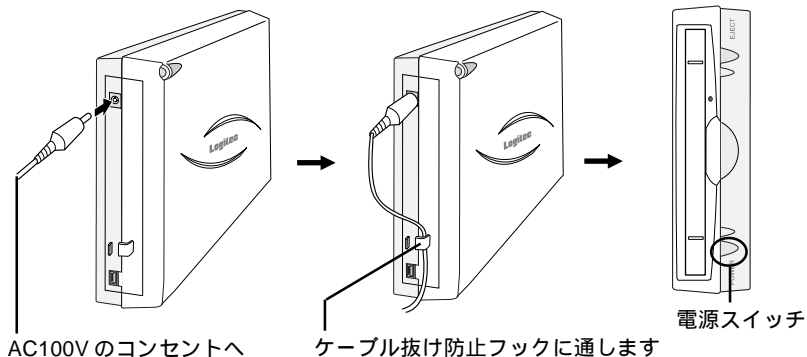
システムが再起動されます。再起動が完了したら、インストール作業は終了です。CD-ROMをドライブから取り出しておいください。次に本製品の接続を行います。

4.1.2 本製品の接続

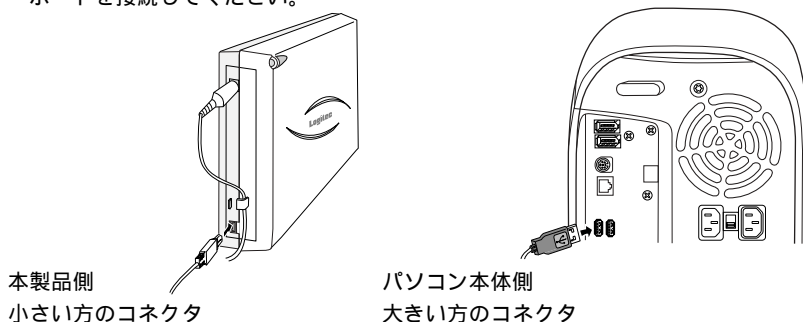
パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動させてください。

本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続し、ケーブルをケーブル抜け防止フックの下にくらせてください。ACアダプタはAC100Vのコンセントに接続します。

ACアダプタの接続ができたなら、本製品の電源スイッチを ON にします。



付属の USB ケーブルで本製品の USB シリーズ B コネクタと、パソコン本体の USB ポートを接続してください。



以上で接続とインストールは終了です。これで本製品を使用できる状態になりました。本製品にフォーマットされた MO メディアをセットすると、デスクトップ上にアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックするとメディアにアクセスすることができます。



参考

Mac OS X では本製品を接続すると自動的に認識され使用できる状態になります。

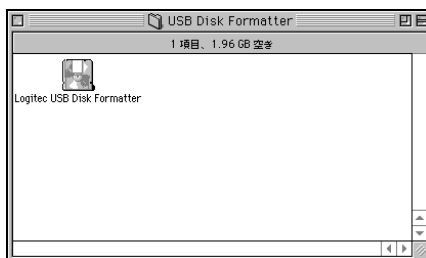
4.2 MOメディアのフォーマット手順



ご注意

Mac OS X 10.0.4 以降のOSでは、ここで説明するフォーマットソフト「Logitech USB Disk Formatter」は動作しません。OS標準の「Disk Utility」をご使用ください。

本製品を接続した状態で、ドライバのインストール時に作成された「USB Disk Formatter」フォルダを開き、「Logitech USB Disk Formatter」アイコンをダブルクリックしてください。



フォーマットが起動して、右のウィンドウが開きます。ここで本製品にフォーマットしたいMOメディアをセットしてください。



セットされたMOメディアに関する情報が表示されます。

フォーマットされていないMOメディアをセットした場合は、「フォーマット」の欄に「不明」と表示されます。



内容を確認したら、「ディスクの初期化」ボタンをクリックしてください。



参考

- ・「マウント」ボタンは、何かの原因でマウントされなかったMOメディアを強制的にマウントするものですが、フォーマット時には使用しません。
- ・「取り出し」ボタンは、本製品にセットされたMOメディアを取り出すためのものです。間違ったMOメディアをセットした場合などに使用してください。

右のウィンドウが表示されます。
必要に応じて設定等を行ってください。

MOメディアに名前をつけたい場合は、ここに入力します。

フォーマット形式を選択したい場合はこのプルダウンメニューを開きます。(下の「ポイント」参照)



設定が終了したら、「初期化」ボタンをクリックしてください。

Point

ポイント

「フォーマット」形式には、「Mac OS 標準」と「Mac OS 拡張」があります。データ交換などを目的とする場合は「Mac OS 標準」を、それ以外の場合は「Mac OS 拡張」をお勧めします。

Mac OS 標準

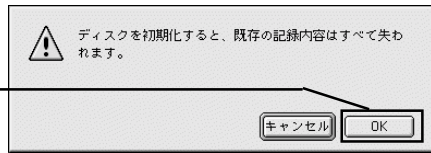
従来のMacintoshシリーズでサポートされていた形式です。汎用性がありますが、1.3GBなどの大容量のMOメディアで選択すると、保管効率が悪くなります。

Mac OS 拡張

Mac OS 8.1からサポートされた形式です。大容量のMOメディアを効率よく使用することができます。ただし、この形式でフォーマットすると、Mac OS8.0以前のシステムではアクセスできなくなります。

確認のメッセージが表示されます。

フォーマットしてもいいことを確認したら、OKボタンをクリックしてください。



フォーマットが実行されます。通常の場合、フォーマットは数秒で終了し、下のウィンドウに戻ります。

フォーマット形式が選択したも
のになっていることを確認して
ください。

確認が終了したら、「取り出し」
ボタンをクリックして、MOメ
ディアを取り出してください。



以上でMOメディアのフォーマットは終了です。メニューバーの「ファイル」メニューから「終了」を選択して、フォーマッタを終了してください。

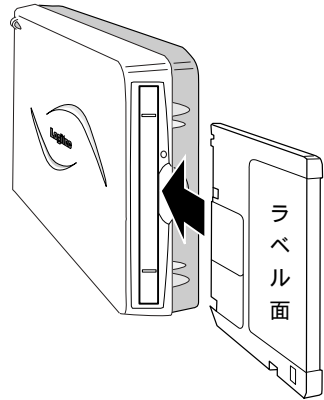


参考

一度上記の手順でフォーマットを行ったMOメディアを再フォーマットする場合は、「特別」メニューの「ディスクの初期化」を使用することも可能です。

4.3 補足事項

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)



ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないで下さい。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

4

メディアの取り出しについて

Mac OS 上でMOメディアを取り出したい場合は、デスクトップ上にマウントされたMOメディアのアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねてください。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品前面のイジェクトボタンはMac OS が起動していないときに使用します。Mac OS 稼動中は使用しないでください。

4 . 4 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONの状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外し時には以下のような点にご注意ください。

本製品にMOメディアがセットされているときは、取り外しは行わないでください。本製品を取り外す前にMOメディアを取り出してください。

パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。

本製品を取り外す場合は、USBケーブルのパソコン本体側のコネクタを先に外してください。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？
ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。
本製品を USB ハブ経由で接続している場合は、パソコンの USB
ポートに直接接続して試してみてください。

MOメディアのアクセス時にエラーが発生する。

MOメディアは汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを
行ってください。
MOメディアの不良も考えられます。別のディスクで試してくださ
い。これで問題がなければ、エラーが発生するMOメディアのデー
タをバックアップして、再フォーマットを行ってください。

特定のMOメディアをアクセスできない。

そのMOメディアはフォーマットされていますか？ 一般にMOメ
ディアは物理フォーマット済みで発売されていますが、物理フォー
マットのみではアクセスはできません。本書記載の方法でフォー
マット（論理フォーマット）を行ってください。
MOメディアではスーパーフロッピーフォーマットの形式が一般的
ですが、ハードディスク形式やアップルコンピュータ社の
Macintosh シリーズ用にフォーマットされたディスクもあります。
異なるシステムとデータ交換を行う場合には、スーパーフロッピー
フォーマットのMOメディアを使用してください。（Macintosh シ
リーズでスーパーフロッピーフォーマットのMOメディアを使用す
るには、MacOS標準のユーティリティ「PC Exchange」が必要です。）
そのMOメディアが本製品で使用できる容量のものかどうかを確認
してください。使用可能なMOメディアについては、「1.4メ
ディアに関して」をご参照ください。

MOメディアに書き込みができない。

MOメディアのライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定さ
れていませんか？

特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）で MOメディアを使用できない。

一部のユーティリティソフトウェアでは、動作対象がハードディスクのみになっている場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせ、そのソフトウェアがMOメディアを動作対象としているかどうかを確認してください。

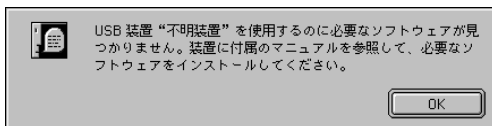
一部のソフトウェアでは、動作中のディスク交換の問題などからインストール対象をハードディスクに限定している場合があります。ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ（サスペンド）状態の処理方法により、このような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラム等によりこの現象を回避できる場合もあります。

アップデートプログラム等が用意されていない場合は、スリープ（サスペンド）機能をOFFにしてご使用ください。

Macintosh シリーズで本製品を接続すると、 以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品のドライバがインストールされていません。第4章にしたがって、ドライバのインストールを行ってから、本製品を接続してください。

Macintosh 環境で本製品のドライバをアンインストール したい。（Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 まで）

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

Logitech USB-302 Driver

Logitech USB-302 Shim

データの転送速度が遅い。

USB 2.0 のポートに正しく接続されていますか。

USB 1.1 のポートに接続されている場合、データの転送速度は Full-Speed (12Mbps) までとなります。High-Speed (480Mbps) でデータ転送を行うには USB 2.0 ポートにつなぎかえてください。

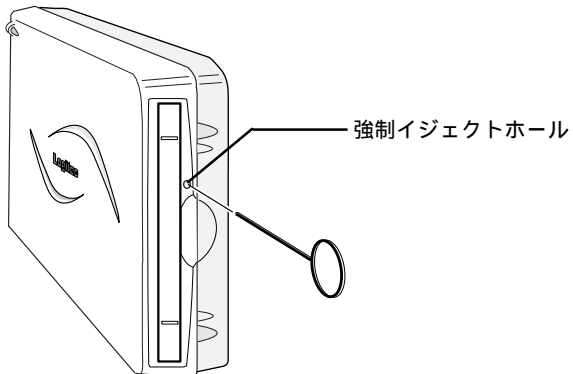
パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェイスボード (PCI 用インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応 USB 2.0 インターフェイスカード) を接続してドライバのインストールを行ってから、接続しなおしてみてください。

MOメディアがイジェクト出来ない。

アクセス表示ランプが点灯していないか確認してください。アクセス中はイジェクトできませんので、アクセスが終了するまでお待ちください。

ソフトウェアの中には、MOメディアのイジェクトを禁止するものがあります。現在使用中のソフトウェアを終了して試してください。

上記の項目に当てはまらない場合、一度本製品の再接続、および電源の再投入を行って試してください。それでもだめな場合は、本製品の電源を OFF にして、付属のイジェクトツールを強制イジェクトホールに挿し込み、強く押してください。



ご注意

本製品の電源が ON の状態では、強制イジェクトは行わないでください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

5 . 2 メディア ID について

本製品は「メディアID」機能に対応しています。以下のロゴマークはメディアID機能対応を示すものです。



メディアIDとは、メディアID対応のMOメディアに著作権保護の目的で記録された変更不可能な固有の番号です。今後ブロードバンドコンテンツ配信サービスなどで、メディアIDを前提とした著作権保護が施されたコンテンツの配信が予定されますが、このようなコンテンツを保存/再生するには、メディアIDに対応したMOメディアおよびMOドライブが必要です。詳細についてはインターネット上の弊社Webサイトをご参照ください。

本製品のメディアID機能を使用するためにはドライブが必要となります。メディアID対応ドライブは、付属のCD-ROM「LogitecWare」内に収録されています。また、最新バージョンについては、弊社Webサイトにて公開中です。

5.3 保守とその他の注意事項

メディアのクリーニングについて

MOメディアは1～3ヶ月に1回程度、別売のメディアクリーニングキットを使用してクリーニングする必要があります。(使用環境/頻度によってクリーニングの時期は異なります。)クリーニングの方法については、クリーニングキットの取扱説明書をご参照ください。

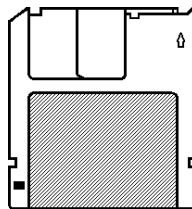
本製品用のメディアクリーニングキットは、以下の型番で弊社より販売されております。

型番：LMO-330-02

MOメディアのラベルについて

MOメディアにラベルを貼付する場合は、必ず指定の位置に1枚だけ貼ってください。また、貼った後ではがれないようにMOメディアの両面をしっかりと押さえてください。(最近のラベルには再剥離可能なようにのりが弱いものもあります。そのようなラベルはできるだけ使用しないでください。)

不適切な位置に貼ったり、2枚貼りするとMOユニット内部でラベルがはがれて、MOメディアがイジェクトできなくなる恐れがあります。



裏面に回る部分がはがれやすいのでしっかりと押さえます。

斜線の部分からはみ出さないように貼ります。

ハードウェア仕様

機種名	LMO- H1340U2 LMO- H1340U2 (W)	LMO- H648U2 (W)	
メディアタイプ	3.5 型 MOメディア *1		
ディスクあたりの記憶容量	1.3 GB 640MB/ 540MB 230MB/ 128MB	640MB/ 540MB 230MB/ 128MB	
平均シークタイム	62ms		
ディスク回転数	4071 rpm*2 3053 rpm	4800 rpm	
インターフェース	USB 2.0 High- Speed (従来の USB 1.1互換)		
コネクタ	USB mini- B		
最大同期転送速度 *3	USB High- Speed : 480 Mbps USB Full- Speed : 12 Mbps		
キャッシュメモリ	8 MB		
環境条件 *4	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80%
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10% ~ 85%
入力電圧	AC100V ± 10% 50/ 60 Hz *5		
消費電力 (定格)	7 W *6		
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	33 × 111 × 141 mm *7		
質量	510 g *8		

*1 対応メディアについては「1.4 メディアに関して」を参照

*2 1.3GB メディア使用時は 3053rpm

*3 理論値

*4 ただし結露なきこと

*5 ACアダプタ

*6 ACアダプタ含む

*7 縦置き時、突起部/スタンドを除く。

*8 本体のみ

